

JFA第18回全日本女子フットサル選手権大会 長崎県大会

<競技上の注意>

1. 競技規則について

公益財団法人日本サッカー協会（以下「JFA」という）制定の「2020/2021フットサル競技規則」で実施する。詳細については大会要項に依ることとする。尚、シーズンの途中でフットサル競技規則の改正等があった場合は、その都度適用を通知することとする。

2. ユニフォーム及び用具について

- (1) ユニフォームは、JFAユニフォーム規程に準じた正副2着（FP・GK共）を必ず着用すること。
- (2) GKがトラウザーズを着用する場合は、裾などにファスナーや危険物がついてないものを使用すること。
- (3) 貼り番は、四辺をしっかりと縫って指が入らない事を審判に確認してもらい許可を得た場合のみ使用可能とする。また、他に番号（ショーツ等）が付いている場合、それらの番号も貼り替えなければならない。
- (4) 半袖のシャツの下にアンダーシャツを着用する場合は、シャツの袖の主たる色と同色でなければなりません。パワープレーにおけるGKユニフォームにも適用されるので注意すること。
- (5) ストッキングはすね当てを完全に覆い、膝のところまで上げて着用すること。
- (6) シューズは、靴底の接地面が紺色もしくは白色あるいは無色透明のフットサル用シューズのみを使用可能とする。スパイクシューズや接地面が着色されたもの（ノン・マーキングシューズであっても）の使用は認めない。
- (7) 競技中にシャツの裾を出す又は出さないに関わらず、ユニフォームは安全で見苦しくなく且つマナーある着用を心がけること。
- (8) パワープレーのGKユニフォームは、その試合に登録されたGKユニフォームのシャツと同一のシャツを着用し、その競技者のFPユニフォームと同じ番号を付けること。
- (9) GK負傷等による不測の事態の対応について
パワープレー用GKユニフォームがあるチームのGKが負傷し登録GKがいない場合の取り扱いについて
→GKが負傷し出場できなくなった場合、パワープレー用GKユニフォームを着用予定のFPがパワープレー用ユニフォームを着用しGKとなる。
パワープレー用ユニフォームのないチームのGKが負傷し登録GKがいない場合の取り扱いについて
→「不測の事態」となり、FPの1名がサブユニフォームを着用しGKとしてプレーする。
但し、相手FPと色が被った場合はGKのサブユニフォームで対応する。
- (10) 交代要員を含め競技者の用具は、試合前にチェックします。試合中に禁止されている装身具を着用していた場合、その競技者は外すように注意されます。
- (11) 爪については、長さ等により競技者として出場できないと判断されることがあるので注意すること。また、ネイルについて、次の場合、出場できないことがある。（長い爪、付け爪、爪に装着したビーズ等）

JFA第18回全日本女子フットサル選手権大会 長崎県大会

<競技上の注意>

3. ピッチへの入場について

両チームの登録選手は、試合開始7分前にオフィシャル席前に整列すること。

メンバー提出用紙及びJFA発行の選手証によって、氏名・背番号及びすね当て等の用具をチェックします。

チェックにより不備がある場合は入場できません。

また、そのために、競技開始時間を遅らせることもないので注意すること。

4. 選手席・ベンチについて

(1) 組合せ表の左側（ホーム）チームが、ピッチに向かって左側のベンチ使用で準備をすること。

(2) ピッチ内（ベンチ、選手席を含む）には、その試合に登録された役員及び選手以外は入れません。

(3) 接触や衝撃により人体等に影響が及ぶおそれのある選手及び役員のベンチ入りは認めません。

また、妊娠中の者もベンチ入りは認めません。

なお、事実を隠しベンチ入りしたことにより事故等が発生した場合、主催者側等は一切の責任を負わない。

(4) 競技中は監督及び役員、交代選手は必ずベンチに入り着席すること。

(5) 競技中、交代選手はユニフォームのシャツの色と明らかに異なる色のビブスを着用すること。

ユニフォームの上に防寒用としてベンチコートやジャージーなどを着ている場合も同様とします。

(6) テクニカルエリアは、自チームベンチの前にマーキングし設けます。

その際、ベンチに入れる役員の中からただ1名のみが競技者に戦術的指示を伝えることができます。

(7) 交代要員のウォーミングアップは、指定されたウォームアップエリアで行うこと。

その際、ボールは使用できません。ウォームアップエリアでゲームを観戦、応援

あるいは指示を与えるなどの行為をしないこと。

(8) 競技中に必要があってテクニカルエリアから離れる交代要員またはチーム役員は、第3審判の許可を得ること。

(9) タイムアウト終了のブザー後は円陣等を組まず、速やかにリスタート出来るよう心がけること。

5. その他

(1) 競技中に負傷者がした場合、チーム役員は主審の許可を得たもの最大2名までがピッチに入ることができます。

ただし、負傷の程度を見て負傷者を運び出すためであり、ピッチ内での治療は許可されません。

(2) 競技中、ピッチ内での飲水はできません。飲水は、タイムアウト中か自由な交代の際ベンチの

指定された場所で行うこと。その際、飲水は水のみとし容易にフロアに零れないスクイズボトル等に入れること。

又、スポーツドリンク等の飲料は事前に指定された場所以外での摂取は認められません。

(3) タイムアウト中の交代は認められません。タイムアウト終了のブザーが鳴った後、

5人の選手がピッチ内に入った後に正しい交代を行うこと。（インプレーになる前に交代できます。）

(4) 競技者がハーフタイムで交代する場合は、後半の開始前に前半終了時の競技者が

一度ピッチ内に入り交代の手続きを行うこと。

但し負傷を伴う場合は第3審判に通知することで交代を完了することとする。

JFA第18回全日本女子フットサル選手権大会 長崎県大会
<運営上の注意>

1. ウォーミングアップについて

①各チームがピッチ内でウォーミングアップできる時間は以下の通りとする。

- ・当該試合の前の試合のハーフタイム
- ・当該試合の前の試合終了後から試合開始7分前とする。

②試合中、次試合チームがピッチ内でウォーミングアップを行う場合、試合中のチームユニフォームと異なる色のシャツ（ビブス）を着用すること。

2. 退場となった選手の取り扱い

①退場した選手は、試合開始から終了まで会場本部席後方で観戦する。また、ピッチ会場に入ることはできない。

②出場停止の選手が、当該試合を観戦する場合は、会場本部席後方で観戦する。

3. 観戦選手のマナー

ピッチ上の選手は観戦者と会話をしてはならない。また、ベンチでの行動等についてもマナーを守る。

4. 新型コロナウイルス感染予防対策

新型コロナウイルス感染予防対策マニュアルに従い大会に参加しなければならない。

5. その他

① 会場で出たごみ類は必ず持ち帰る。

② ピッチがあるフロアでの飲食は絶対に行わない。

③ 更衣については指定されたところで行う。

④ 貴重品は必ず各チーム・個人で管理する。

JFA第18回全日本女子フットサル選手権大会 長崎県大会
<新型コロナウイルス感染予防マニュアル>

JFA第18回全日本女子フットサル選手権大会 長崎県大会における新型コロナウイルス感染予防対策について
下記のとおり対応し実施する。

1. 大会開催方法

- ①当面の間、会場入りするチーム（選手・スタッフ）、チーム応援団の検温を事前に行い当日提出する。
- ②ソーシャルディスタンス（2m以上）を保ち開催する。（観客席も同対応をする。）
- ③換気を行い実施する（窓の開放、ドアの開放等、換気扇の使用等）
- ④3密にならないよう最善の方法をとり実施する。

2. 来場者全員の注意事項

- ①発熱等の症状がある方や体調がすぐれない方は来場しない。
- ②マスク着用を義務とする。
- ③咳エチケットの徹底や、頻繁な手洗いなどを徹底する。
- ④購入または支給した飲食物のゴミは、感染防止のため各自で持ち帰る。
- ⑤入口でアルコール消毒をする

3. チーム注意事項

- ①代表者1名は、当日の全員の検温結果等を電話等で確認し、記載した指定用紙を大会本部に提出する。
発熱等の症状がある選手や体調がすぐれない選手は来場させない。検温は、チーム関係者が実施する。
- ②ベンチ、ピブス、スクイズ又はペットボトルは人との共有を避けて利用すること。
クーラーボックスの利用は、特定した1名がビニール手袋等を着用し感染予防を行った場合のみ可能とする。
- ③ピッチ内にてベンチ選手ならびにチーム関係者はマスクの着用をする。
- ④握手は行わない。（試合前後の「選手・審判員との握手」は実施しない。）
- ⑤得点後等、選手間の接触によるパフォーマンスを行わない（ソーシャルディスタンスを保つ。）
- ⑥ピッチには前試合の選手及びスタッフが全員退場した後、入場する。
- ⑦スタッフ1名の指示以外は大きな声を出さない。
- ⑧ハーフタイム時は、自陣のベンチをキッチンペーパーで拭き取り、ベンチを移動する。
ベンチ交替の際は、ホームチームはオフィシャル席の前方、アウェーチームはオフィシャル席の後方を移動する。
- ⑨試合終了後、自陣のベンチは全てキッチンタオル等で拭いて消毒をし、次の試合のチームへ渡す。
- ⑩円陣は行わない。
- ⑪ピッチ上でチームメイト、審判員と会話する際にも距離についてしっかりと配慮する。
- ⑫帰宅後3日以内にチームの中から感染者が出た場合は、フットサル委員会に速やかにその旨伝える。
- ⑬入場は先発の5人のみ

4. 運営についての対応

- ①ボールパーソン・記録・得点のマスクの着用。
- ②怪我をした選手を他の選手がむやみに接触しない。また、ピッチ外に当該選手を移動させる際は、おんぶやだっこを避け、担架を活用する。仮に、おんぶ等をして当該選手を移動させた場合、移動に関わった人は速やかに消毒を行う。